

1 単元名 グループ学習を前向きに振り返ろう！

2 単元について

(1) ねらい

○特別支援教育の視点

特別支援学校学習指導要領の自立活動の【3「人間関係の形成」(3) 自己の理解と行動の調整に関すること。】に示された指導事項で、自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができるようになることをねらいとする。

○キャリア教育の視点

キャリア教育を通して育てる基礎的・汎用的能力は、社会的自立を図る上で必要な能力であり、発達の段階を追って育成されるもので、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題適応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力で形成されている。本単元では「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」の向上をねらいとし、多様な他者の考えや立場を理解し、自分の置かれている状況を受け止めながら役割を果たすことや、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動することをねらいとする。

(2) 児童の実態

対象児童は、他校から本校に通級している4年生男児（診断名：自閉スペクトラム症傾向の疑い）である。2年生後期から本校LD等通級指導教室に入級し、個別指導と小集団指導（今年度は学年別でメンバー編成し、3・4年生グループと5・6年グループに分けて指導を行っている。）の両方での指導を行っている。入級当初の在籍校での様子は、自分の気持ちを優先的に考えてしまう傾向が強く、トラブルがあった際には一方的に相手を責め、被害者意識を強く抱いていることが多かった。また、注意が様々な物事に移りやすく、気になることがあると授業中でも立ち歩いたり、周りの友達にちょっかいを出してトラブルになったりすることがあった。入級当初の通級での様子は「友達が欲しい。だからその方法を教えてほしい。」と漠然とした自分の思いを話していた。また、自分の思いを一方的に話すことが多かったり、興味のないことへの意欲が著しく低かったりした。さらに、様々な物事へ注意が移りやすく、気になることがあると授業中でも立ち歩いてしまう様子が見られた。在籍校で起きた友達とのトラブルを振り返ると「どうせ僕が悪いことになる。」や「また僕だけが怒られる。」など否定的な発言が目立っていた。

<今年度 小集団指導 参加児童について>

学年・性別	実態
男	<ul style="list-style-type: none"> ・本児の思い通りに物事が進まないとき気持ちが高ぶり、教室から出てしまうことがある。 ・衝動性が強く、思ったことをすぐに口に出してしまうことがある。
男	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識が高く、ルールや決まりを守っていない友達がいるとき気持ちが高ぶり、攻撃的な言動がみられる。
男	<ul style="list-style-type: none"> ・注意が様々な物事へ移りやすく、教師の話を最後まで聞くことが難しかったり、授業中に立ち歩いてしまったりすることがある。
女	<ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けへのこだわりがあり、勝ち負けのある活動への抵抗感が強い。 ・初めてのことや自信のない活動に取り組むことが難しいことが多い。

(3) これまでの取り組み

これまで個別指導では、本児の考えや気持ちを否定しないことを第一に考え、安心して素直な気持ちで学習に取り組むことができるように意識して指導を行ってきた。教室環境を極力シンプルにし、本児が様々なことに集中して取り組めるよう整えた。また、集中して取り組めたことを積極的に称賛したことで「集中して頑張ろう」という意欲を引き出すことができ、3年生前期初め頃からは通級指導の中では集中が途切れてしまう様子がほとんど見られなくなった。自分の思いや考えを優先的に考えてしまうことに対しては、入級当初から様々な表情や場面の絵、写真などから登場人物の気持ちを予想する学習をしたり、在籍校で起きたトラブルを振り返ったりして場面に適した対処方法を考える学習に継続的に取り組んできた。その中で自分の気持ちと相手の気持ちを分けて考えることができるようになってきており、様々な出来事を相手の気持ちを含めて分析しながら考えることができている。

小集団指導では、入級当初は自分の思いが先行してしまい、主張が通らないとき気持ちが不安定になったり、友達にしつこくかかわってしまい相手を不快な思いにさせてしまったりすることが目立っていた。個別指導でその時の様子を振り返りながら適した行動について考え、「しつこくしすぎないこと」や「やさしく伝えること」など、場面に適した対応方法を実践してきたことで友達とのトラブルは減ってきている。一方で、トラブルを起こさないことを意識しすぎてしまい、自分の気持ちを相手に伝えずに、我慢して相手の意見だけを受け入れることが多くなってきた。在籍校でも小グループでの話し合いの際は、トラブルを起こさないことを強く意識し、本児が意見を言いたくても我慢してしまうことがある。また、友達とのトラブルの際に、嫌なことをされても一方的に我慢する様子も見られ、本児の中で様々な思いを溜め込んでしまう様子も見られるようになってきている。

(4) 本単元の取り組み

本単元では、単元名にある「前向き」という言葉を「もっとよくしていくことができるだろうという希望をもつこと」と捉えて指導を行っていきたい。これまでに在籍校や通級の様々な場面において本児が身に付けてきた「相手と一定の距離を置くことでトラブルを避ける方法」に併せて、本児の長所である思いやりがある考え方や、ユーモアのある発想力を生かし、「本児の個性や性格を生かしながら相手や場面に適したかかわり方をしていくことで友達との関係や、場の雰囲気をもっとよくしていく方法」について指導していきたい。

そのために個別学習と小集団指導を関連付けて指導を行う。まず、小集団指導で様々な活動に取り組

む中で、本児の友達とのかかわり方や活動への取り組む態度・姿勢などでよかった点、改善できそうな点について個別指導で振り返る。次に次時の小集団指導に向けて本児が良かった点や改善点を意識してよりよくしていこうとすることを繰り返しながら取り組み、本児にとっての集団や場面への適したかかわり方について見出していけるように指導していきたい。

(5) キャリア教育の視点について

キャリア教育の視点からは、4つに構成されている基礎的・汎用的能力の「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」の向上をねらいとして進めていく。「人間関係形成・社会形成能力」は、小集団指導の際に多様な考えをもつ集団において相手の気持ちを予想しながら、適切な行動を遂行することができたり、自分の役割を果たしながら集団での活動をよりよいものにしていこうとしたりすることに重点を置きたい。「自己理解・自己管理能力」は、小集団指導の中で学び得たことを個別指導の中で振り返りながら自分自身の可能性について前向きに捉え、自分自身や集団をよりよく成長させていこうとする意識や意欲を引き出すことに重点を置きたい。本単元を通して上記の視点について繰り返してアプローチして、学級集団や社会集団において、自分の置かれている状況を受け止めながら役割を果たすことや、物事が思い通りに進まない状況で、自分自身のことを肯定的に捉えながら前向きに学ぼうとすることにつなげることができると考える。

3 単元の目標

- 相手の状況や気持ちを予想し、適したかかわり方を考え、実践することができる。
- 物事が思い通りにいなくても前向きに捉え、よりよく改善しようと努めることができる。

4 指導計画 (5 / 5)

日付	学習内容
5 / 17 小集団指導	<p><第1回 グループ学習></p> <p>㊦今年度の目標「仲良く、楽しく」を確認しよう！</p> <p>① わたしは誰でしょうゲーム お互いの個性をクイズ形式で知り、仲良く活動していくための素地を養う。</p> <p>② ペア活動 少人数でのかかわり合いの中で、対人関係への自信を深める。</p>
5 / 23 個別指導	<p><前時グループ学習の振り返り></p> <p>㊦グループを前向きに振り返ろう！</p> <p>○よかった点・もっとよくなりそうな点を振り返り、次回の小集団指導に向けてよりよくしていく方法を教師と一緒に考える。</p>

<p>5 / 30 個別指導</p>	<p><次時グループ学習の見通し></p> <p>⑥ みんなで楽しむために作戦を考えよう！</p> <p>○前時の振り返りをもとに次時のグループ学習で意識して取り組むことについて確認し、見通しをもたせる。</p>
<p>6 / 7 小集団指導</p>	<p><第2回 グループ学習></p> <p>⑥ みんなの「よさ」を認め合おう！</p> <p>① 紙飛行機大会 お互いの個性を紙飛行機を通して尊重し合い、認め合うことのよさに気付かせる。</p> <p>② ペア活動 少人数でのかかわり合いの中で、対人関係への自信を深める。</p>
<p>6 / 18 個別指導 (本時)</p>	<p><前時グループ学習の振り返り></p> <p>⑥ グループを前向きに振り返ろう！</p> <p>○よかった点・もっとよくなりそうな点を振り返り、今後の小集団指導に向けてよりよくしていく方法を教師と一緒に考える。</p>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

○相手の状況や気持ちを予想し、適したかかわり方を考えることができる。

○様々な出来事を前向きに捉え、よりよく改善しようと努めることができる。

(2) 展開 (5 / 5)

時配	学習活動と内容	教師の指導と支援 (評価☆)	資料・教具
5	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <p>・教師と話し合いながらワークシートに学習の予定を記入する。 「今日は〇〇の時間を多めに取りたい。」 「今日は先生が決めてください。」</p>	<p>○本時のめあてや流れについて本児の気持ちを尊重しながら確認し、学習の見通しをもてるように支援する。</p>	<p>ワークシート①</p>
5	<p>2 スピーチ</p> <p>・本児の好きなことや身の回りの出来事について話をする。 「〇〇について絵を描きながら話しても</p>	<p>○本児の好きなことや身の回りの出来事について肯定的に傾聴し、本児が素直な気持ちで本時の学習に取り組めるように支援する。</p>	

	<p>いいですか。」 「最近〇〇で困っています。」 「〇〇くとトラブルがあった。」</p>	<p>○事前に保護者や担任の先生から在籍校や家庭での様子を聞き、トラブル等があれば振り返りを行う。 ○本児の話の中で、通級での学習で扱うことができそうな話題については、内容を整理しながら記録しておく。</p>	
20	<p>3 小集団指導の振り返りをする。</p>		ワークシート②
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">グループ学習を前向きに振り返ろう！</p> <p>・前時の小集団指導の写真を載せたワークシートを用い、出来事を振り返る。</p>	<p>○問題文は事前に記入せず、本児の思いや考えに寄り添うことができるように、本児の様子や考えに合わせて、その場で教師が記入する。 ○本児の考えを積極的に称賛することで、自信をもって主体的に取り組めるように支援する。 ☆相手の状況や気持ちを予想し、適したかわり方を考えることができる。 ☆様々な出来事を前向きに捉え、よりよく改善しようと努めることができる。</p>	
10	<p>4 お楽しみ活動</p> <p>・本児の希望を尊重し、運動やボードゲームなどの活動を行う。 「今日は〇〇をやりましょう。」 「〇〇と□□を両方やってもいいですか。」</p>	<p>○本児の希望で様々な活動に取り組む際には、事前に起きそうなルールの捉え違いやトラブルを教師と予想し合い、お互いに活動を楽しむことができるように指導する。</p>	
5	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>・本時のめあてについて本児が感じたことや思ったことを振り返る。</p>	<p>○本時のめあてを意識しながら振り返りを書くことができるように声を掛ける。</p>	ワークシート①